江戸時代

名前

問1　江戸幕府が鎖国下の長崎において、中国（清）やオランダとの貿易を継続させた目的として、当時の宗教政策の観点から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 鎖国によって海外との交流を完全に断絶し、日本の自給自足体制を完成させるため
2. キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため
3. キリスト教を日本独自の宗教と融合させ、新たな国教として普及させるため
4. 中国やオランダを通じて、東南アジア諸国へキリスト教を輸出するため

問2　江戸時代の農村において、名主や肝煎とも呼ばれ、村の行政や年貢のとりまとめを担った村役人の役職名として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 代官
2. 庄屋
3. 奉行
4. 地主

問3　江戸時代の三大改革のうち、田沼意次の政治のあとに松平定信が行った「寛政の改革」の背景とその目的として正しい説明はどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大名に参勤交代の負担を軽減する代わりに米を献上させ、幕府の米蔵をいっぱいにしようとした。
2. 株仲間の結成を広く認めることで、商人の力を借りて物価の安定を図ろうとした。
3. 賄賂や冷害による社会の混乱を鎮めるため、質素倹約と朱子学を重んじて幕府の権威を再建しようとした。
4. 外国船の来航に備えるため、商業を活性化させて海防を強化し、幕府の財政を潤そうとした。

問4　17世紀前半、江戸幕府がキリスト教の禁止と貿易の統制を主な目的として、外国との交流を段階的に制限した一連の対外政策を何と呼びますか。（2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 身分統制
2. 鎖国
3. 参勤交代
4. 武家諸法度

問5　江戸時代の教育機関について述べた文として、当時の社会状況と照らし合わせて正しいものを選びなさい。なお、当時の資料には、武士が幕府直轄の昌平坂学問所で政治や道徳を学ぶ様子や、農民・町人の子供たちが民間の教育機関で学ぶ様子が記されています。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 昌平坂学問所は、読み・書き・そろばんなどの実用的な技能を農民に教えるために設立された。
2. 農民や町人の子供たちは寺子屋に通い、オランダから伝わった蘭学や天文学を中心に学んだ。
3. 武士は朱子学を学び、身分の上下関係や礼儀を重んじることで社会の秩序を保とうとした。
4. 江戸幕府は武士に対し、日本古来の精神を追求する国学を政治を支えるための正学として奨励した。

問6　江戸時代の日本と朝鮮の関係について、貿易や拠点のあり方を説明した文として正しいものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）

1. 長崎の出島に朝鮮の商人が来航し、オランダや清（中国）と同様に幕府が直接管理する貿易が行われた。
2. 朝鮮の釜山に倭館と呼ばれる施設が置かれ、対馬藩が窓口となって貿易が行われた。
3. 薩摩藩が朝鮮を服属させ、那覇に置かれた施設を通じて日本への朝貢貿易を強いた。
4. 対馬に朝鮮館と呼ばれる施設が置かれ、そこを拠点に朝鮮の商人と日本の商人が自由に取引を行った。

問7　江戸時代の政治改革において、徳川吉宗による「享保の改革」と、松平定信による「寛政の改革」の間に位置する時期に行われた政治について、その特徴として正しいものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

1. 幕府の権威を回復するため、朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁じる「寛政異学の禁」を定めた
2. 商工業者が組織する「株仲間」を積極的に公認し、彼らから税を徴収することで幕府の財政を立て直そうとした。
3. 旗本や御家人などの武士を救済するため、借金を帳消しにする「棄捐令（きえんれい）」を発令した。
4. 質素倹約を徹底し、都市に流れ込んだ農民を村に帰す「旧里帰農令」を出すことで、農業の再興を目指した。

問8　17世紀初め、江戸幕府による朱印船貿易が盛んになると、東南アジア各地に日本人が移住して「日本町」が形成されました。そのなかでも、インドシナ半島の内陸部に位置するシャム（現在のタイ）の王都に作られ、山田長政が町の長として活躍したことで知られる場所はどこですか。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. ルソン島（マニラ）
2. アユタヤ
3. ミンダナオ島
4. ジャワ島（バタビア）

問9　18世紀前半、徳川吉宗が進めた「享保の改革」の背景とその内容についての説明として、正しいものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 生類憐みの令による混乱を収拾するため、武士に対して武芸よりも文治を重んじるよう求めた。
2. 飢饉による農村の荒廃を防ぐため、農民が土地を売買することを永久に禁止する法令を出した。
3. 幕府の深刻な財政難を立て直すため、新田開発の推進や上げ米の制を行い、実学を奨励した。
4. 外国船の来航に備えるため、鎖国体制をさらに強化し、日本人の海外渡航を完全に禁止した。

問10　イギリスで発達した蒸気機関の技術は、交通手段にも大きな革新をもたらした。この動力技術を応用して実用化され、原料や製品の大量輸送を可能にしたものはどれか。（2017年 岡山県公立入試 類似）

1. 蒸気機関車による鉄道
2. 人力による荷車と運河の整備
3. 電気による地下鉄網
4. ガソリンエンジンによる自動車

問11　江戸時代前期の1643年に江戸幕府が出した、農民が自らの土地を永久に売り買いすることを禁止した法令を何といいますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 田畑永代売買禁止令
2. 分地制限令
3. 慶安の御触書
4. 生類憐みの令

問12　江戸幕府が大名による謀反（反乱）を防止するために、参勤交代とあわせて実施した「大名の家族」に関する措置として正しいものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 大名の長男を将軍の養子として、幕府の役職に就かせた
2. 大名の妻を、1年ごとに京都の朝廷へ派遣させた
3. 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住まわせた
4. 大名の妻子が領地から出ることを厳格に禁止した

問13　江戸時代中期から後期にかけて、財政再建を目指した田沼意次と松平定信の経済政策の違いについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 田沼意次は新田開発を進めて農業重視の政策を徹底し、松平定信は株仲間をさらに拡大させることで都市の商人から多額の献金を引き出した。
2. 田沼意次は株仲間の奨励や長崎貿易の拡大により商業の力を利用して増収を図り、松平定信は寛政の改革で倹約を強制し農村の立て直しを重視した。
3. 田沼意次は農民に副業を勧めて現金の流通を抑えようとし、松平定信は積極的な貨幣発行によって物価の上昇を抑え、武士の生活を助けた。
4. 田沼意次は朱印船貿易を再開して海外の富を国内に引き入れようとし、松平定信は楽市・楽座を導入して全国の関所を撤廃した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため	幕府はキリスト教の布教を禁じる一方で、中国の産物である生糸や、西洋の学問・技術といった有用な物資や情報を必要としていました。そこで、布教を行わないことを条件に中国やオランダとの窓口を長崎に限定し、幕府の厳格な統制のもとで貿易を継続させました。これにより、禁教と実利の確保を両立させようとしました。
問2	答え 2 庄屋	江戸時代の村政は「村方三役」と呼ばれる有力な百姓たちによって運営されていました。その責任者であるこの役職は、地域によって呼び名が異なり、関東では名主、東北や北陸では肝煎、近畿や西国では庄屋と呼ばれました。主な職務は、領主の命令を村人に伝えることや、村全体の年貢の納入をとりまとめることでした。
問3	答え 3 賄賂や冷害による社会の混乱を鎮めるため、質素倹約と朱子学を重んじて幕府の権威を再建しようとした。	田沼時代に蔓延した賄賂政治や、天明の飢饉による社会不安を解消するため、松平定信は儒教的な道徳観（朱子学）に基づく政治を目指しました。農村に人を戻す「旧里帰農令」や、武士の借金を免除する「棄捐令」などを通じて、疲弊した農村と幕府財政の再建を図りました。
問4	答え 2 鎖国	幕府はキリスト教の広がりが封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、また貿易による利益を独占するために、外国との窓口を長崎などの特定の場所に限定しました。1641年にオランダ商館が長崎の出島に移されたことで、この体制が完成したとされています。
問5	答え 3 武士は朱子学を学び、身分の上下関係や礼儀を重んじることで社会の秩序を保とうとした。	江戸時代の教育は身分によって役割が分かれていました。幕府が武士に朱子学を推奨したのは、その道徳観が封建的な身分秩序を正当化し、長期的な政権の安定に寄与したからです。一方で、一般の庶民は寺子屋で「読み・書き・そろばん」といった日常生活や実務に直結する知識を習得していました。
問6	答え 2 朝鮮の釜山に倭館と呼ばれる施設が置かれ、対馬藩が窓口となって貿易が行われた。	江戸幕府は「四つの口」と呼ばれる窓口を通じて限定的な外交・貿易を行いました。対朝鮮外交においては対馬藩がその役割を担い、朝鮮側の拠点である釜山には「倭館」という日本人の居住地を兼ねた貿易拠点が設置されました。出島はオランダや清との貿易拠点であり、薩摩藩が関与したのは琉球王国、松前藩が関与したのはアイヌとの交易であるため、これらと区別して理解する必要があります。
問7	答え 2 商工業者が組織する「株仲間」を積極的に公認し、彼らから税を徴収することで幕府の財政を立て直そうとした。	田沼意次の政治は、それまでの農業中心の財政再建策から転換し、商業の発展を利用しようとしたのが特徴です。具体的には、商人の組合である株仲間の結成を奨励し、営業税である運上（うんじょう）や冥加（みょうが）を納めさせることで、金銭による収入を増やそうとしました。選択肢にある旧里帰農令や棄捐令、寛政異学の禁は、田沼の後の時代である松平定信の「寛政の改革」の内容です。
問8	答え 2 アユタヤ	江戸時代初期、徳川家康が朱印状を発行して海外渡航を許可したことで、東南アジアの主要な港や王都付近には日本人の居住地である日本町が作られました。シャムのアユタヤにあった日本町は、最盛期には数千人が居住する最大規模のものでした。山田長政はアユタヤ王朝の傭兵隊長として活躍し、高官に登用されるなど、現地の政治にも深く関わりました。
問9	答え 3 幕府の深刻な財政難を立て直すため、新田開発の推進や上げ米の制を行い、実学を奨励した。	吉宗が就任した当時の幕府は、支出の増大により深刻な財政赤字に陥っていました。吉宗は「享保の改革」を断行し、節約を徹底するだけでなく、新田開発による年貢収入の増加や、大名に米を献上させる「上げ米の制」を実施しました。また、農業技術や暦の改良に役立てるために実学を重んじたことが、後の蘭学の発達にもつながりました。
問10	答え 1 蒸気機関車による鉄道	産業革命で生まれた蒸気機関の技術は、交通機関にも応用されました。スティーブンソンらによって蒸気機関車が実用化されると、鉄道網が急速に整備され、重い石炭や鉄鋼、製品を遠方まで大量に運ぶことが可能になり、経済のさらなる発展を支えました。
問11	答え 1 田畑永代売買禁止令	江戸幕府は農民が農地を売って没落するのを防ぎ、安定した年貢収入を確保するために土地の売買を禁止・制限しました。
問12	答え 3 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住まわせた	幕府は大名の忠誠を誓わせるため、大名の正妻と世継ぎを「人質」として江戸の屋敷に住まわせました。これにより、地方の大名が幕府に対して勝手な行動をとれないように監視を強め、幕藩体制の安定を図りました。
問13	答え 2 田沼意次は株仲間の奨励や長崎貿易の拡大により商業の力を利用して増収を図り、松平定信は寛政の改革で倹約を強制し農村の立て直しを重視した。	老中・田沼意次は、商人の団体である「株仲間」を積極的に公認して運上金や冥加金を徴収し、商業資本を利用した財政再建を試みました。しかし、賄賂の横行などの弊害も生じたため、次に実権を握った松平定信は、寛政の改革において農本主義的な理想に基づき、厳しい倹約令や農村復興策（旧里帰農令など）を打ち出しました。このように、商業重視から農本主義・倹約重視への転換が行われた点が重要です。